

演題番号:178

IHE報告7:IHE導入サクセスストーリー



岡崎市民病院 情報管理室

山田 修

放射線医学総合研究所

重粒子医科学センター 臨床検査部

清水 一範

IHEの実装とは

IHEの提供するテクニカルフレームワークに従いシステム構築を行い、相互運用性を確保すること

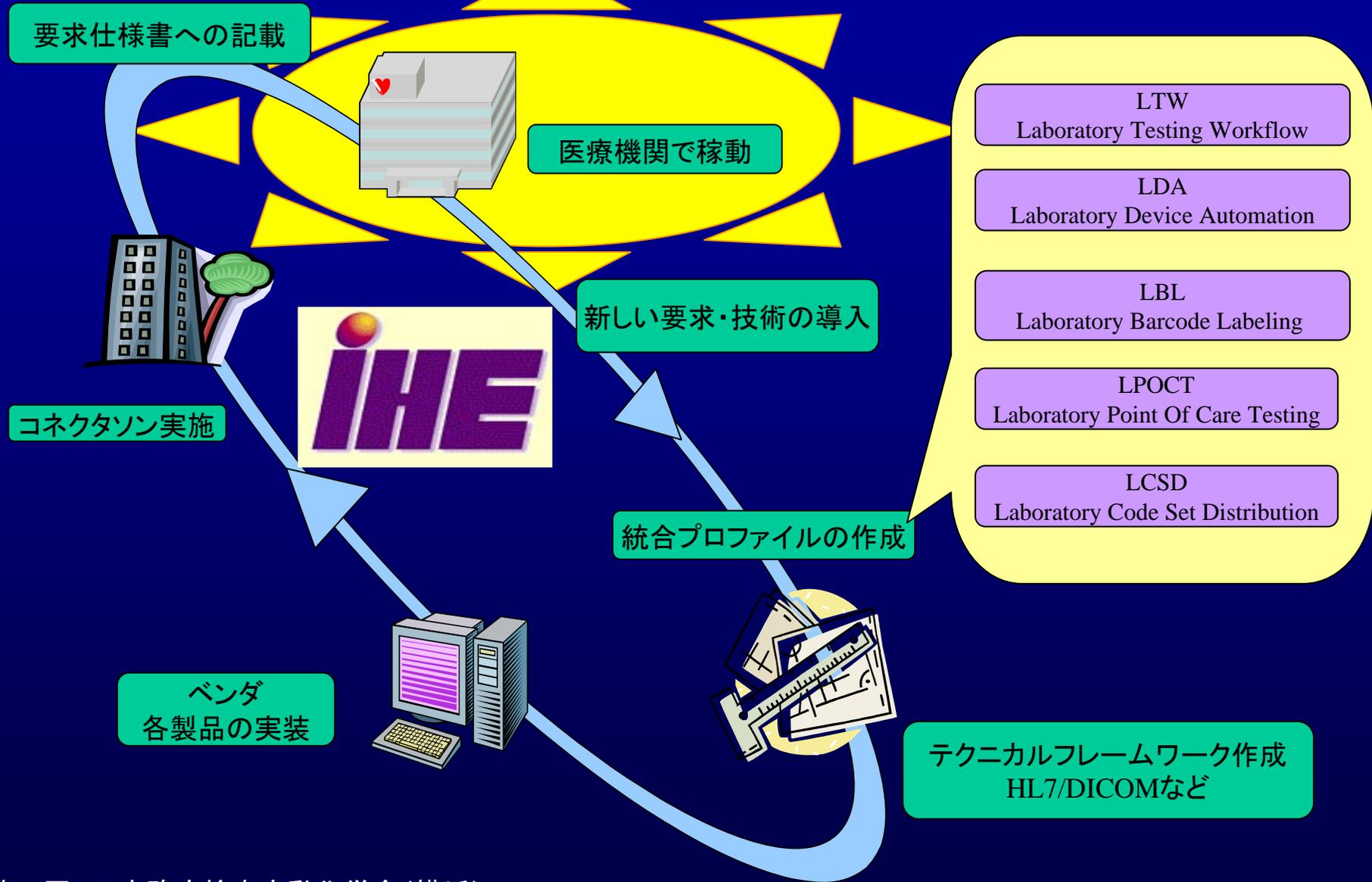


マルチベンダによる相互運用性の実証



システムやベンダを越えたデータ連携を実現し、施設や地域を越えたデータ利用を可能にする

IHEサイクル



サクセスストーリー

☆サクセスとは？

インターネット（Google）で「サクセス」を検索すると・・・
某化粧品メーカーの育毛剤の名称

国語辞典では

- ・仕事・計画などがうまくいくこと。目的を達成すること。
- ・相当な地位や財産を得ること。
- ・功を積むこと。年功。

☆サクセスですか？

まだまだやる必要があります！

通信電文比較

岡崎市民病院	放医研
MSH ^~& GL OSH HIS OSH 20070806172055 OUL^R22^OUL_R22 20070806172055 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994	MSH ^~& 20060817135716 OUL^R22^OUL_R22 20060817000294 P 2.5 ~ISO IR87 ISO 2022-1994
PID 0000073 テスト 73^~~~~L^Y^テスト 73^~~~~L^P 19350101 M 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3-1 0564-21-8111 0564-21-8111	PID 9800336^~~~~P ンンケンサ^カンシ^ャ033^~~~~L^P^んんん検査患者^03^~~~~L^I 19700502 F ^~~~~336-0001^H
PV1 O 20 20061212 20061213	PV1 O ^~~~~C
SPM 1 000007300082&&08060931013^20070806000977&&08060931013	SPM 1 067291000176000^067291000176000 023^血清^JC10^001^血清^L1 200607290000 20060729 001^血清^L1
SAC 08060931013	SAC 10001760001
OBR 1 000007300082 20070806000977 200708061719 20070806 045849^山田 修^~~~~L^~~~~Y^ヤマダ オサム^~~~~L^~~~~P 20070806172055 F B^20^臨床検査科^20^	OBR 1 067291000176000 067291000176000 E001^検体検査^L4 200607290000 EGMAIN00^テスト管理者^~~~~L^~~~~I F 99^検体至急^L
ORC SC 000007300082 CM 20070806172055 045849^山田 修^~~~~L^~~~~Y^ヤマダ オサム^~~~~L^~~~~P 20^臨床検査科	ORC SC 067291000176000 CM 20060817135716 EGMAIN00^テスト管理者^~~~~L^~~~~I 01^~~~~C 01^放射線科^L
TQ1 1 0	TQ1 1 20060729 R
OBX 1 NM 3A010000002327101^総蛋白^JC10 7.0 NM^ 6.7^ 8.3 F 0	OBX 1 NM 3C025000000127200^尿素窒素^JC10^0000400^尿素窒素^L1 1.0 mg/dl^mg/dl^L7 7.0-20.0 L F S
OBX 2 NM 3C0250000002327201^尿素窒素^JC10 9 NM^ 8^ 22 F 0	OBX 2 CE 3C025000000127200&TCM^^JC10^0000400&TCM^尿素窒素^L1 1 - F R
OBX 3 NM 3C0150000002327101^クレアチニン^JC10 0.32 NM^ 0.60^ 1.10 F 0	OBX 3 CE 3C025000000127200&TCM^^JC10^0000400&TCM^尿素窒素^L1 2 /1 F R
OBX 4 ST 8X101000002392011^乳び^JC10 検査取消 F 0	OBX 4 NM 3C015000000127100^クレアチニン^JC10^0000500^クレアチニン^L1 2.0 mg/dl^mg/dl^L7 0.5-0.8 H F S
OBX 5 ST 8X102000002392011^溶血^JC10 検査取消 F 0	OBX 5 NM 3C020000000127100^尿酸^JC10^0000600^尿酸^L1 3.0 mg/dl^mg/dl^L7 2.6-7.0 F S

手前みそ

……標準化を訴え続けたことで思わぬ効果も。

・必要

今は昔の物語

・早期

……でも

普及を阻むものは

・・・時折耳にしますが、

ユーザ:「技術的なことはよく分からない。」

ベンダ:「これまで開発してきたものを捨てられない。」

双方

「問題なく動いているものを変える理由が分からないし、
そもそも何のメリットがあるのか？」

医療におけるシステム化の先頭を争ってきた弊害？

理想型



ユーザ

「今日も1台装置を追加しちゃった。」



ベンダ

「独自仕様での接続なんて時間とお金の無駄だね。」

この実現に向かって

放医研 と 岡崎市民病院 は踏み出しました！

終わりに

IHE協会などが開催するワークショップで扱われる内容を
自動化学会向けにまとめてご提供致しました。

通常ワークショップでは参加費3000円を頂いていますが、
今回は特別に無料にて提供させていただきます。

是非、元を取ってお帰り下さい。

m(_ _)m

IHE報告1: 医療情報システムにおける標準化

IHE報告2: 臨床検査システム導入とIHE

IHE報告3: 自動分析装置とIHE

IHE報告4: 採血管準備とIHE

IHE報告5: IHEを支える技術(HL7、MEDISマスタ)

IHE報告6: IHE全体動向

IHE報告7: IHE導入サクセスストーリー